

# 林野庁長官感謝状受賞者の概要

## 1. 合法木材等供給部門 合法木材供給事業者

1 事業体の名称	株式会社沓澤製材所																
2 代表者名	代表取締役 沓澤 一英																
3 所在地	秋田県大館市釈迦内字街道上 154 番地																
4 連合会の概要	株式会社沓澤製材所は昭和 2 年に創業、秋田杉の郷土として名高い県北部中央の大館市を拠点に、秋田スギの製材製品・木工用集成材・壁面材・桶樽・チップ等を製造し、山林育成から製材・小木工品の製作まで資源の有効活用を図り、品質管理の徹底された製品を供給している。また JAS 展の連続上位入賞企業である。																
5 合法木材の普及についての取組状況	<p>(1) 合法木材原料の調達 非合法木材は取り扱わないという基本理念の下、社内で「合法木材入出荷内部規程」を作成して調達している。原木の購入に当たっては、契約前に合法性等の証明ができることを確認の上契約している。また、原木の受入については、合法木材の証明書添付等を条件として受け入れている。</p> <p>(2) 合法木材製品の普及 合法性木材・木材製品であることを証明するため、出荷明細書に「合法的に伐採された木材のみを原料として製造されたものである」旨を記載して交付している。 東京都内における県産材モデル住宅展示会への参画や、国際展示場で開催されるジャパンホームショー或いは DIY ショー並びに地元商工祭への出展を通じ、合法木材の啓蒙・普及、PR 活動に努めている。また、地元建設会社グループへも合法木材の積極的な使用を働きかけ、合法木材ナビ事例紹介ページにも積極的に掲載している。 さらに、一般市民や学生・生徒が参加する工場見学会等のイベントの中でも、合法木材製品を使用することの意義や必要性等を説明し、普及に努めている。</p>																
6 合法木材の調達・供給実績	<p>原料調達実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>合法木材調達実績</th> <th>全体の調達実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸太</td> <td>20,614 m<sup>3</sup></td> <td>20,614 m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>製品供給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>合法木材販売実績</th> <th>全体の販売実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製材品</td> <td>10,583 m<sup>3</sup></td> <td>10,583 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>チップ</td> <td>5,538 m</td> <td>5,538 m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>		品目	合法木材調達実績	全体の調達実績	丸太	20,614 m <sup>3</sup>	20,614 m <sup>3</sup>	品目	合法木材販売実績	全体の販売実績	製材品	10,583 m <sup>3</sup>	10,583 m <sup>3</sup>	チップ	5,538 m	5,538 m <sup>3</sup>
品目	合法木材調達実績	全体の調達実績															
丸太	20,614 m <sup>3</sup>	20,614 m <sup>3</sup>															
品目	合法木材販売実績	全体の販売実績															
製材品	10,583 m <sup>3</sup>	10,583 m <sup>3</sup>															
チップ	5,538 m	5,538 m <sup>3</sup>															

1 事業体の名称	静岡県森林組合連合会														
2 代表者名	代表理事会長 榛村 純一														
3 所在地	静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号(県庁西館 9F)														
4 連合会の概要	<p>静岡県森林組合連合会は、昭和 16 年 11 月に設立。森林組合法に基づき、森林所有者の社会的地位の向上並びに森林の保続培養および森林生産力の増進を図ることを目的に活動しており、静岡県内 20 森林組合から構成されている。昭和 32 年 5 月に静岡木材共販所(後に営業所と改名)を、同 37 年 10 月に天竜木材共販所(同)を、同 54 年 11 月に富士木材センターを開設した。</p>														
5 合法木材の普及についての取組状況	<p>(1) 合法木材原料の調達 静岡県森林組合連合会は、合法木材供給事業者認定団体として、会員である県内 20 森林組合と静岡乾燥木材加工センターの 21 事業体を合法木材供給事業者として認定している。また、森林組合及び素材生産業者に、個別に制度の必要性和合法木材の供給を要請し、周知徹底を図っている。</p> <p>(2) 合法木材製品の普及 上記の取組を進めてきたことから、平成 20 年 2 月以降、静岡県森連取り扱う木材は原料調達、製品供給ともに合法木材となり、現在も 100% 合法証明継続を目指し、合法木材の普及を推進している。 また、静岡県内では、平成 15 年段階で 900ha が S G E C 認証を取得しており(平成 21 年 11 月現在:7,710ha)、静岡県森連においても、平成 18 年 12 月に木材共販所(静岡、富士、天竜)が S G E C 認証の認証林産物流通システム(木材共販部門)を取得した。更に平成 19 年 12 月には、同じく林産部門でも取得しており、持続可能な森林の維持と、森林認証木材の普及、拡大に努めている。</p>														
6 合法木材の調達・供給実績	<p>原料調達実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>合法木材調達実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸太</td> <td>154,018 m<sup>3</sup></td> <td>平成 20 年度</td> </tr> </tbody> </table> <p>製品供給実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>合法木材販売実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸太</td> <td>154,018 m<sup>3</sup></td> <td>平成 20 年度</td> </tr> </tbody> </table>			品目	合法木材調達実績	備考	丸太	154,018 m <sup>3</sup>	平成 20 年度	品目	合法木材販売実績	備考	丸太	154,018 m <sup>3</sup>	平成 20 年度
品目	合法木材調達実績	備考													
丸太	154,018 m <sup>3</sup>	平成 20 年度													
品目	合法木材販売実績	備考													
丸太	154,018 m <sup>3</sup>	平成 20 年度													

# 社団法人全国木材組合連合会会長表彰状受賞者の概要

## 1. 合法木材等供給部門 合法木材供給事業者

佐藤木材工業株式会社(北海道紋別市)

### 【会社の概要】

昭和7年に創業。

郷土の自然を楽しみながら、地域へ貢献することを社是とし、北海道トドマツの人工林間伐材加工の先駆的な役割を果たすなど、道産材の高次加工や高付加価値化に努めている。

素材生産、原木流通、製材・加工(チップ、集成材、ツキ板、木質ボード等)を行い、製品は道内外に販売している。

### 【合法木材調達】

製材原料は、国有林や道有林から立木や丸太で購入したものの他、民有林材も調達しているが、入荷に際し合法性が確認できるもののみを調達している。

### 【合法木材製品の普及】

出荷に当たっては、合法性証明要請の有無にかかわらず、本制度や合法木材製品としての自社製品のPRのため、全量証明して出荷している。

関係する企業に対して機会を捉え、本制度のPRに努めるとともに、合法ナビで製品を掲載し、一般消費者等需要者への普及に努めている。

また、当社は平成16年に周辺の森林と合わせて社有林をSGECの認証森林とし、同年にCoC認定事業者となるなど森林認証制度に高い意識を持っている。

株式会社ヨシダ(北海道苫小牧市)

### 【会社概要】

昭和22年に創業

地域資源を有効利用することを社是とし、北海道産エゾマツ、トドマツの高次加工や高付加価値化に努めている。

製品は、コンクリート型枠用サンギの他、建築用羽柄材、内装材、エクステリア用品等を製造し、道内外に販売している。

### 【合法木材調達】

製材原料の丸太は、道央の国有林から産出された人工林間伐材の他、民有林材を地元流通業者や森林組合から調達しているが、入荷に際し合法性が確認できるもののみを調達している。

### 【合法木材製品の普及】

出荷に当たっては、合法性証明要請の有無にかかわらず、本制度や合法木材製品としての自社製品のPRのため、全量証明して出荷している。

関係する企業に対して機会を捉え本制度のPRに努めるとともに、違法伐採に関連するイベントに自社製品の出品などをとおし積極的に参加している。

また、合法木材ナビで製品を掲載し、一般消費者等需要者への普及に努めている。

有限会社泉林業(岩手県住田町)

【会社概要】

昭和30年代より造林作業や素材生産を共同請負していたが、昭和40年に県に木材登録をしたのを契機に単独で創業し、昭和63年に有限会社を設立した。

当初は造林作業が多かったが、現在は素材生産が主となっている。生産した丸太は、地域内の協同組合や製材所、合板企業の工場へ供給している。

【合法木材調達】

私有林の立木購入に当たっては、所有者に対して伐採届を提出するよう指導しているが、不慣れな所有者などには連名での伐採届を作成して提出するなどして、必ず伐採適合書の受理を確認してから伐採している。特に、保安林の場合には指導して伐採許可や作業行為許可を取得させてから伐採している。また、生産した丸太の出荷に当たっては、合板工場へは引渡材送状によって全量合法性を証明するとともに、製材工場等から合法性証明を求められたときには速やかに証明書を発行している。

【合法木材製品の普及】

前社長が長年地元素材生産業協同組合理事長を務めたことから、地域材の利用拡大のため地元での木材加工協同組合の設立と、これら工場への丸太供給に積極的に係わり、地元素材生産者に対して法令を遵守した丸太の生産、出荷を働きかけるとともに、自らも合法材の供給を率先して行い、地域での先導的役割を果たしている。特に、合法木材制度が創設されると、率先して供給事業者の認定を受けて出荷するなど、合法木材供給の普及啓発を行っている。